

## JA5BGA 鈴木信一さん

井原：愛媛DXグループのホーム・ページをインターネットで拝見しましたが、なかなかよくできていますネ。

鈴木：私は昔からこの方面に興味を持っていたので、初めはRBBSのサービスをしていたのです。ところが、RBBSに代わってPacketClusterが登場し、DX情報はより迅速に、多くの人にほとんど同時に伝えられるようになりましたよネ。

井原：これはDX'erにとって、革命的なことでしたネ。

鈴木：そうでした。PacketClusterの話はあとですとして、話題をインターネットに戻せば、私の属している愛媛DXグループのメンバーの顔写真が紹介できればと思い、ホーム・ページを作ったのです。

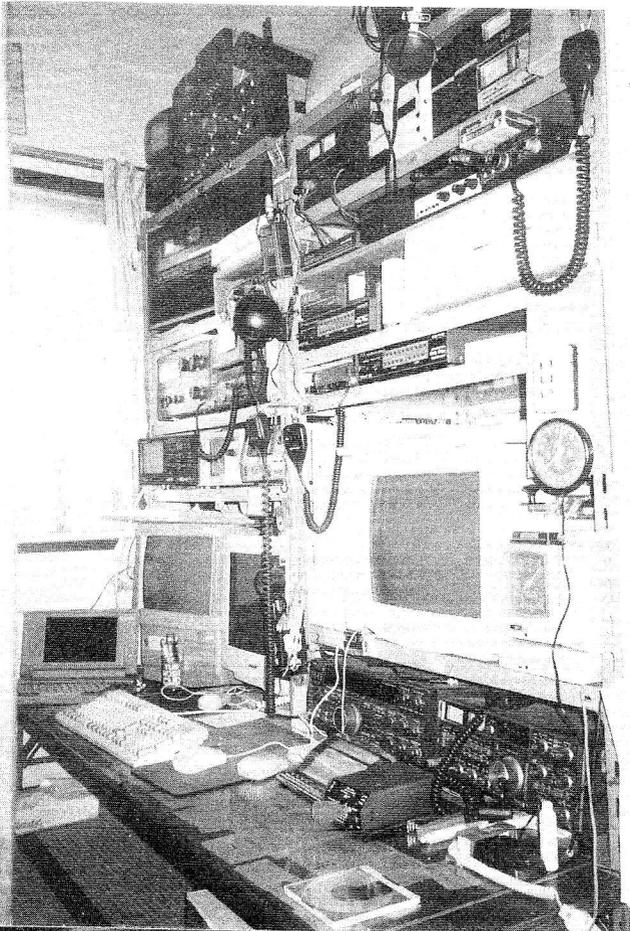
井原：鈴木さんは、その方面の専門家ですか？

鈴木：昨年8月に会社のホーム・ページを作る仕事に従事しています。この経験を元に、三ツ田(JA5AUC)さんなどと相談しながら、愛媛DXグループのホーム・ページができました。

井原：全国的に見て、愛媛DXグループの外にもこのようなホーム・ページがありますか？

鈴木：さあ、どうでしょう。国内ではDX中心のホーム・ページはあまり見ていませんが、外国にはかなりありますヨ。

鈴木信一(JA5BGA)さんのシャック



# おじゃま

井原：ホーム・ページを見る方は楽しいのですが、作る方はいろいろと大変でしょう？

鈴木：作る方はパズルかゲームをしているくらいの気持ちですが、ブリテンの書き換えを毎月やらなければならないので、時間的な余裕がないときは大変です。協力してくれる人がいればいいのですが……。

井原：やはりお一人では大変でしょうね。

鈴木：とくに外国のDX'erにも読んでもらえるように、この部分を英語にしたいのです。どなたか英訳してくださる人を求めています。

井原：インターネットというと、昨年末に運用されたVKØIRのログがインターネットで見られるということで、ハムの間でも一躍脚光を浴びましたが、ハムとインターネットについてどのようにお考えでしょうか？

鈴木：VKØIRのホーム・ページは技術も高く、感心させられました。愛媛DXグループのホーム・ページからもVKØIRのページにリンクして交信状況が検索できるようにしたのですが、そのために私のところにアクセスして下さる数がかかなり増えました。

井原：愛媛DXグループのURLはつぎの通りです。

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/ja5bga>

鈴木：Buckmasterのコールブック最新版とリンクして、外国の局の住所も検索できるようになっています。ぜひご利用ください。

そのほか、愛媛DXグループのホーム・ページからアマチュア無線全般、ハム関連企業のページ、その他にもパソコン関係などにリンクできるようになっています。宣伝になってすみません(笑)。

井原：この間、NHKの第一放送を聴いていたら、現在のインターネットは必要なときにだけ電源を入れて使うという意味で過渡的なものであり、将来的には1日24時間にわたり電源を入れっぱなしにするようになって、初めてインターネット本来の姿になるんだと思っていましたが……。

鈴木：将来はそうなると思いますし、そうなって欲しいですネ。そうなれば、情報の伝達が非常に早くなります。

井原：将来的にPacketClusterがインターネットに取って代わる時代が来るでしょうか？

鈴木：たしかにPacketClusterには欠点があります。V/UHF帯を使っている限り、近くにノードがない場合は利用できない人が出てしまうのですが、安価に、しかも即時に情報を伝送できるという点では、現在これに勝る方式はないと思います。

# します

聞き手：  
JA1ADN 井原 昇

インターネットによるE-mailも複数の人たちに瞬時に情報を伝送できますが、さっき云ったように、現在では電話の通話料が高価なため維持費の点から簡単にはできないでしょう。

**井原：**そうすると、現段階でのインターネットはDX情報を得るということではなく、もっと全体的な国内外のアマチュア無線の動きを知る手段ということになりますか？

**鈴木：**現段階ではそうですね。PacketClusterを利用できない人でもインターネットを使えばこの問題は簡単に解決しますし、チャット機能を使えばまた新しい利用法が考えられるのではないのでしょうか。

**井原：**私は友人の薦めもあって、dx@ve7tcp.ampr.orgからいろいろな情報を配信してもらっています。こちらからも情報を提供するようにしていますが、鈴木さんが推奨するものとして何かありますか？

**鈴木：**それ、英語でしょう？ さっきも云ったように英語は苦手なんです（笑い）。

**井原：**アマチュア無線というのは、マイクの前にオペレーターがいなければ話ができないという欠点があります。この問題を解決したのが記録性のあるデジタル通信で、RTTYなどもそのために普及したように思います。

**鈴木：**そうですね。FAXにしてもPacketClusterにしても、一方的に通話事項を相手に送りつけておいて、そのときにオペレーターがいなければあとで読んでもらうことができるわけですから、便利になりました。

インターネットも同じようなもので、早く情報を知りたいければ待ち受け受信をすればいいことになります。

**井原：**さてインターネットの話はこのくらいにして、鈴木さんのDXハンティングについてお伺いしたいのですが、お好きな周波数帯と電波型式は……？

**鈴木：**とくにありません。DXハンティングを始めてから、かなり年数が経っていますが、ミニパワーですから……。7MHz帯から上はすべてビーム・アンテナにしたので、PacketClusterで流れてくるDXは何でも呼べるようにはなっています。

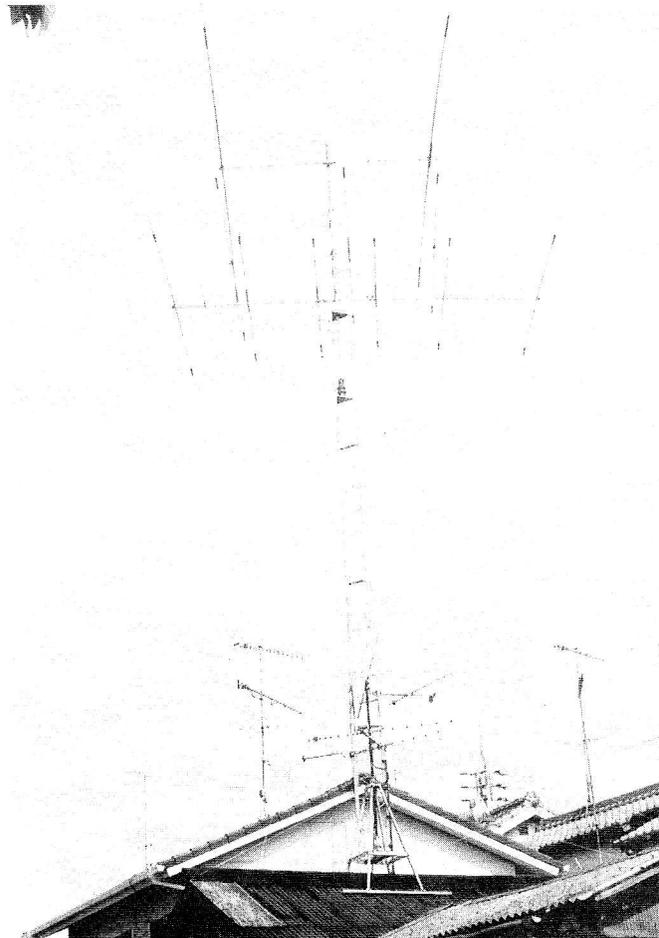
**井原：**交信したDXCCのカントリー数は？

**鈴木：**297カントリーくらいです。コンピューターのプログラムをいじっている時間が長く、DXハンティングはサポっている方が多いですね。

**井原：**ご使用のリグとアンテナについて？

**鈴木：**リグはKENWOODのTS-950SDとTS-690を中心に、V/UHF帯用など全部で10台くらい持っています。

アンテナは3.5/3.8MHz帯用がダイポール、7/10MHz



これらのアンテナのほかパンザに揚げた50MHz帯用5エレもある

帯はナガラ電子工業の3010という2エレです。14/21/28MHz帯はTA-371、18/24MHz帯もナガラの3エレです。V/UHF帯のアンテナを含めると10本くらいかな。

**井原：**これからどのようにハムを楽しんで行くおつもりでしょうか。

**鈴木：**ハムとパソコンを両立させていきたいと思っています。読者の皆さんで、よくリンクするホーム・ページなどがあれば教えていただきたいと思います。

DXハンティングの方はのんびり、一生を掛けてでも全世界と交信する意気込みでいるんですけど、朝が弱いので無理かな……。

**井原：**その他、パソコンとアマチュア無線について、読者に興味のあるような話があれば是非お聞かせください。

**鈴木：**DOS版のBGALOG（ハム用のログ）を作り、100人くらいの方々にご愛用いただいています。つぎはこのログのWindows版を作りたいのですが、時間がなくてなかなかできません。皆さんに催促されて困っているんです。もう少し待ってください。

**井原：**いいですね。私もWindows版ができれば、ぜひ使わせてください。今日はありがとうございました。